



総合型選抜説明会

北海学園大学工学部建築学科

1. 建築学科の総合型選抜とは？
2. 出願書類について
3. 選抜方法について
4. 総合型選抜で問われていること

1. 建築学科の総合型選抜とは？

アドミッション・ポリシー



建築学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人を求めています。

- 機能的で美しい建築や住みよい都市をデザインしたいと思っている人。
- 建築や都市の快適性を環境面から追求したいと思っている人。
- 災害に強く、安全かつ耐久性のある建築や都市を造りたいと思っている人。

そのため選抜科目も多様な科目の中から選択できるようになっており、文系・理系を問わず受験できます。重要なことは、しっかりとした基礎学力と学ぶ意欲を身につけておくことです。また、様々な学習や活動をとおして、コミュニケーション能力や協調性、主体性や表現力を身につけた人を求めています。

(工学部Webサイトより)

1. 建築学科の総合型選抜とは？

趣旨をもとに



受験生のみなさんの「熱意」を応援する入試

(北海学園大学Webサイトより)

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、入学者選抜における学力偏重の弊害を改め、**多様な能力**と**豊かな個性**を持つ生徒を選抜して大学教育の活性化を図ることが求められています。

本学工学部建築学科では、優秀な成績を収め、人々が生きる社会全般に対する**強い興味**と**課題に対応できる能力**を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、総合型選抜を行います。

(入学者選抜要項 1. 趣旨 より)

- 建築や都市を扱う学問への強い興味を持つ方を歓迎します！
 - 建築学は理系・文系の両方の知識や考え方を活かせる学問です。高校で理系を選択している人も、文系を選択している人も、芸術系の方々も、歓迎です！
 - 何かについて、熱意を持って語れる人を、特に歓迎します！
- 入学後も、モチベーション高く、建築学の学びを、他の学生や教員とともに深めていく意志のある方に、ぜひ受験してもらいたいと思っています。

2. 出願書類について

5つの出願書類

出願開始: 2025/9/24 (水)

出願締切: 【郵送】2025/9/30 (火) *当日消印有効 【窓口】2025/10/1 (水) *当日16時必着

- ① 志願票 (願書)
- ② 調査書 (2025年9月10日以降に学校長が作成し、厳封したものに限ります。)
- ③ **学修計画書** (様式5) 大学卒業後のビジョンとその実現のためこれまで行ってきた活動や制作について (1200字程度)
- ④ **事前提出小論文** (様式5) 建築の可能性について、時事問題を取り上げて考察せよ (2400字以上、上限なし)
- ⑤ 実用英語技能検定、GTEC、TOEIC のスコア保有の場合は、検定結果 (写し可) 写しを提出する場合は、それらに誤りがないことを証明する旨の学校長の文書 (様式2) を添えてください。

- 今日は、③と④について、この文章だけでは伝えきれなかったことを説明します。
- ⑤は、関連する努力をしてきた人を、その分評価するためのものです。ないといけなわけではありません。

2. 出願書類について

「学修計画書」について

大学卒業後のビジョンとその実現のためこれまで行ってきた活動や制作について

(1200 字程度)

「大学卒業後のビジョン」とは？

- ビジョンとは、例えば「〇〇をやりたい」「△△は××であるべき」というようなものです。以下のようなことについて考えてみてください。
 - 卒業後、何をやりたい（何になりたい）と思っていますか？
 - 将来的にどんな建築や都市をつくりたい（どう建築や都市と関わりたい）と思っていますか？
 - どう社会と関わり合いたいと思っていますか？

「これまで行ってきた活動や制作」とは？

- 高校時代に、何か実績ある活動や美術作品の制作をしてきたことを必ずしも求めているわけではありません（経験ある人はぜひそれについて語ってください）。
- 趣味や学校の行事などでつくった制作物、学校で取り組んだ探究活動や自由研究などもこの中に含まれます。また、ビジョンとの関係を述べることができるのなら、部活、修学旅行、学校での勉強、ボランティアなど、今までに経験してきたどんなことでも題材とすることが可能です。

2. 出願書類について

「学修計画書」について

大学卒業後のビジョンと**その実現のため**これまで行ってきた活動や制作について

(1200 字程度)

その上で考えてみてほしいこと

- 「大学卒業後のビジョン」と「これまで行ってきた活動や制作」の間にある繋がり。
 - 自分がこれまで生きてくる中でしてきた経験は、建築学を学ぶ上でどんなふうに役に立つのだろう？
- 考えることを通じ、身の回りのいろいろなことが建築学に繋がっているということを実感することで、入学後に建築を学ぶモチベーションを高めてほしいと思っています。

2. 出願書類について

「事前提出小論文」について

建築の可能性について、**時事問題**を取り上げて考察せよ

(2400 字以上、上限なし)

「時事問題」とは？

- テーマはいろいろとあります。建築関係の時事問題を知るには、例えば雑誌「日経アーキテクチュア」を見ると、以下のような特集があります（有料）。
 - 高みを目指せZEH-M：最新の省エネ集合住宅に学ぶ（2025.6.12号）
 - 伸縮自在の教室空間：ワークスペースとメディアセンターと教室が連動（2025.5.22号）
 - 大阪・関西万博 建築的観光ガイド：日経アーキテクチュアが厳選した10の見どころで巡る「未来社会の実験場」（2025.4.24 号）
 - 建設費高騰の波紋：プロジェクトの延期や中止がまだ収まらない（2025.2.27号）
 - 検証・能登半島地震 1 年：再起への難路、防災対策への教訓（2025.1.9号）
- また、「建築の可能性」と関係づけられるのならば、建築関係の時事問題である必要もありません。備蓄米、トランプ関税、「名探偵コナン」劇場版の大ヒットなどでも、時事問題として取り上げることが可能です。
- 複数の時事問題を取り上げて「事前提出小論文」を作成することも歓迎します。

2. 出願書類について

「事前提出小論文」について

建築の可能性について、**時事問題**を取り上げて考察せよ

(2400 字以上、上限なし)

「建築の可能性」とは？

- ・ 取り上げる時事問題のほか、受験者自身の興味や関心、「学修計画書」の「大学卒業後のビジョン」から広げて考えてみてください。

事前提出小論文の評価のポイント！

- ・ どんなテーマを設定したか、どんな時事問題を取り上げたか自体を評価するわけではありません。
- ・ 「**時事問題**」で取り上げる内容を理解していること、その上で自分なりに「**建築の可能性**」について**考察している**ことが問われます。
- ・ 雑誌や本などで他人が言っていることと、自分で考えた意見はきちんと分けて執筆をしてください（参考にした本や記事などは参考文献として必ず紹介してください）。

3. 選抜方法について

1 次選考と 2 次選考

(1) 1 次選考 提出された書類によって総合的に評価します。

- ①調査書と提出された英語のスコア（100 点満点）
- ②学修計画書（150 点満点）
- ③事前提出小論文（150 点満点）

(2) 2 次選考 講義型試験、口頭試問を実施し、総合的に評価します。

1 次選考合格者に対して行います。

- ①講義型試験（150 点満点）

時事問題などに関する講義やグループディスカッションを踏まえて解決のアイディア等を記述する試験。

- ②口頭試問（150 点満点）

講義型試験の答案や1 次選考の提出書類を踏まえた質疑を行い、説明能力・論理的思考・議論する能力・コミュニケーション能力を総合的に審査する。

書類審査のみ

1 次選考結果
2025/10/17 (金)

1 次選考合格者に対し、
豊平キャンパスにて実施

2 次選考試験日
2025/10/26 (日)

合格発表日
2025/11/7(金)

(北海学園大学の中で最も早く合格が決まる入試です)

3. 選抜方法について

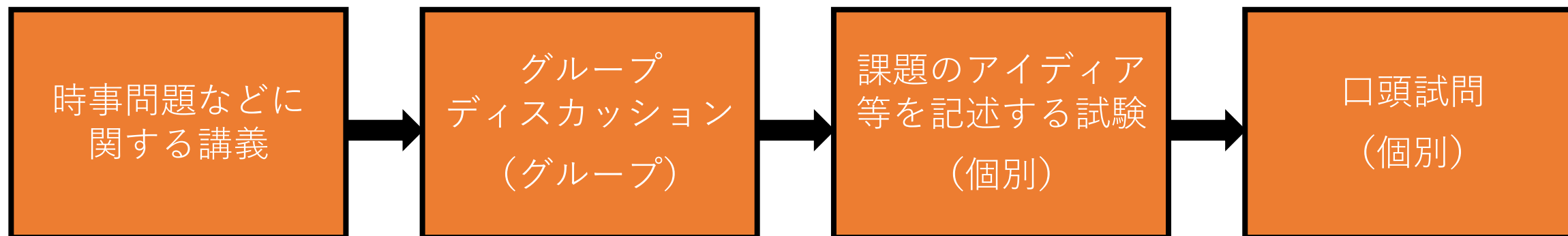
2 次選考について

① 講義型試験 (150 点満点)

時事問題などに関する講義やグループディスカッションを踏まえて解決のアイディア等を記述する試験。

② 口頭試問 (150 点満点)

講義型試験の答案や1 次選考の提出書類を踏まえた質疑を行い、説明能力・論理的思考・議論する能力・コミュニケーション能力を総合的に審査する。



- グループディスカッションは、与えられた課題に関するアイディアなどを**他者と共有する**場です。
- 記述試験はそこで話し合ったことを**自分なりにまとめて回答を導き出す**場です。
- それらの結果も踏まえて口頭試問を行ないます。

4. 総合型選抜で問われていること

建築で重要な能力

■アドミッションポリシー（抜粋）

そのため選抜科目も多様な科目の中から選択できるようになっており、文系・理系を問わず受験できます。重要なことは、しっかりとした基礎学力と学ぶ意欲を身につけておくことです。また、様々な学習や活動をとおして、**コミュニケーション能力**や**協調性**、**主体性**や**表現力**を身につけた人を求めています。

■建築学科 総合型選抜 要項〔1〕趣旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、入学者選抜における学力偏重の弊害を改め、**多様な能力**と**豊かな個性**を持つ生徒を選抜して大学教育の活性化を図ることが求められています。

本学工学部建築学科では、優秀な成績を収め、**人々が生きる社会全般に対する強い興味**と**課題に対応できる能力**を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、総合型選抜を行います。

■建築学科 総合型選抜 要項〔3〕選抜方法 （2）口頭試問

講義型試験の答案や1次選考の提出書類を踏まえた質疑を行い、**説明能力・論理的思考・議論する能力・コミュニケーション能力**を総合的に審査する。

おわりに

体裁を整えることよりも、本心を伝えてください！

みなさんの「**個性**」や「**意欲**」や「**熱意**」を評価し、
大学入学後の学びが有意義なものとなる可能性を見るのが、
建築学科の総合型選抜です。

来年の4月に再会し、
ともに学ぶことができることを楽しみにしています！